

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2023年8月9日

1. 2024年3月期第1四半期決算	2
2. 2024年3月期 業績予想・配当予想	18
3. トピックス	22

2024年3月期 第1四半期決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
	島田組		国内（全国）
	みらい建設工業		国内（全国）
	青木マリーン		国内（全国）
		エムズ	首都圏
	東興ジオテック		国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2024年3月期 1Q業績推移

◆ 親会社株主帰属四半期純利益、四半期純利益率を除き前年同期比増も、主に5月に竣工した「高松コンストラクショングループ東京本社ビル」への移転費用が要因となり、四半期純損失1億円。

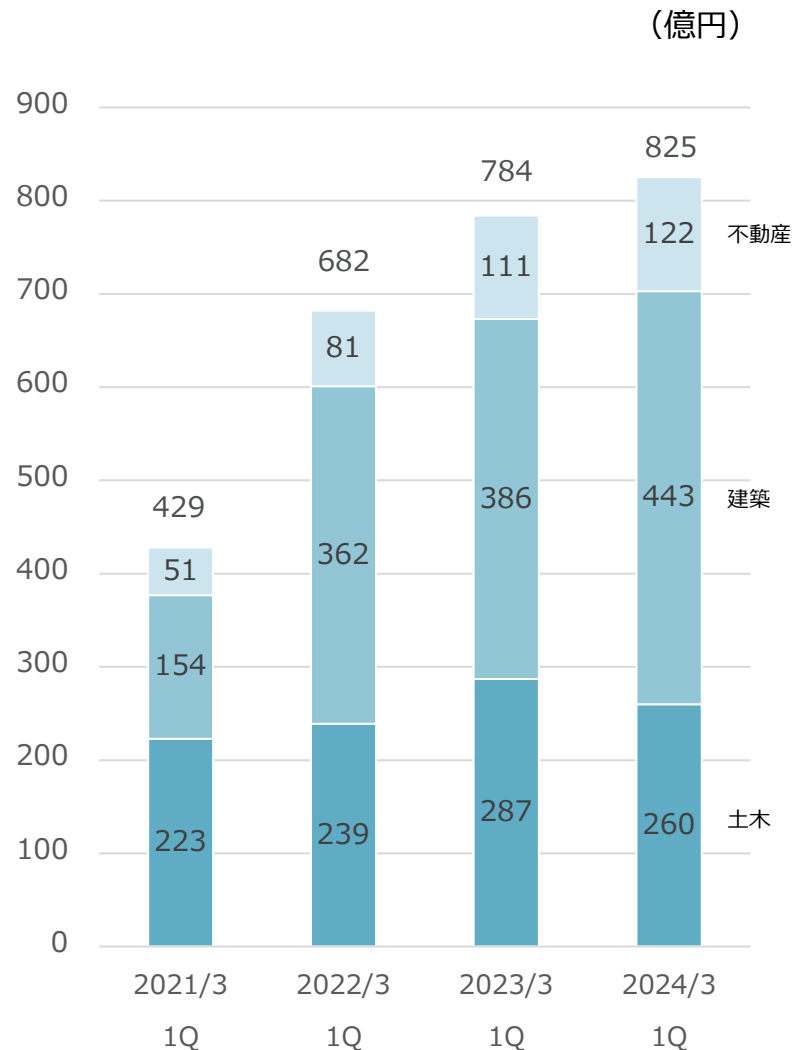
(億円)

項目	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	増減率
受注高	429	682	784	↑ 825	+5.2%
売上高	661	613	604	↑ 656	+8.6%
売上総利益	78	83	76	↑ 88	+16.3%
売上総利益率	11.9%	13.5%	12.6%	↑ 13.5%	+0.9pt
営業利益	14	14	3	↑ 8	+107%
営業利益率	2.1%	2.3%	0.6%	↑ 1.2%	+0.6pt
経常利益	13	14	4	↑ 9	+105.1%
経常利益率	2.1%	2.4%	0.8%	↑ 1.5%	+0.7pt
親会社株主帰属 四半期純利益	6	8	0.6	↓ △1	—
四半期純利益率	0.9%	1.4%	0.1%	↓ △0.2%	△0.3pt

セグメント別 受注高

◆ 土木はみらい建設工業で増も、青木あすなる建設、東興ジオテックの減少が影響し、前年同期比△9.6%。建築は高松建設、青木あすなる建設の受注増で+14.9%。不動産はタカマツハウスが好調を維持し前年同期比+10.1%。

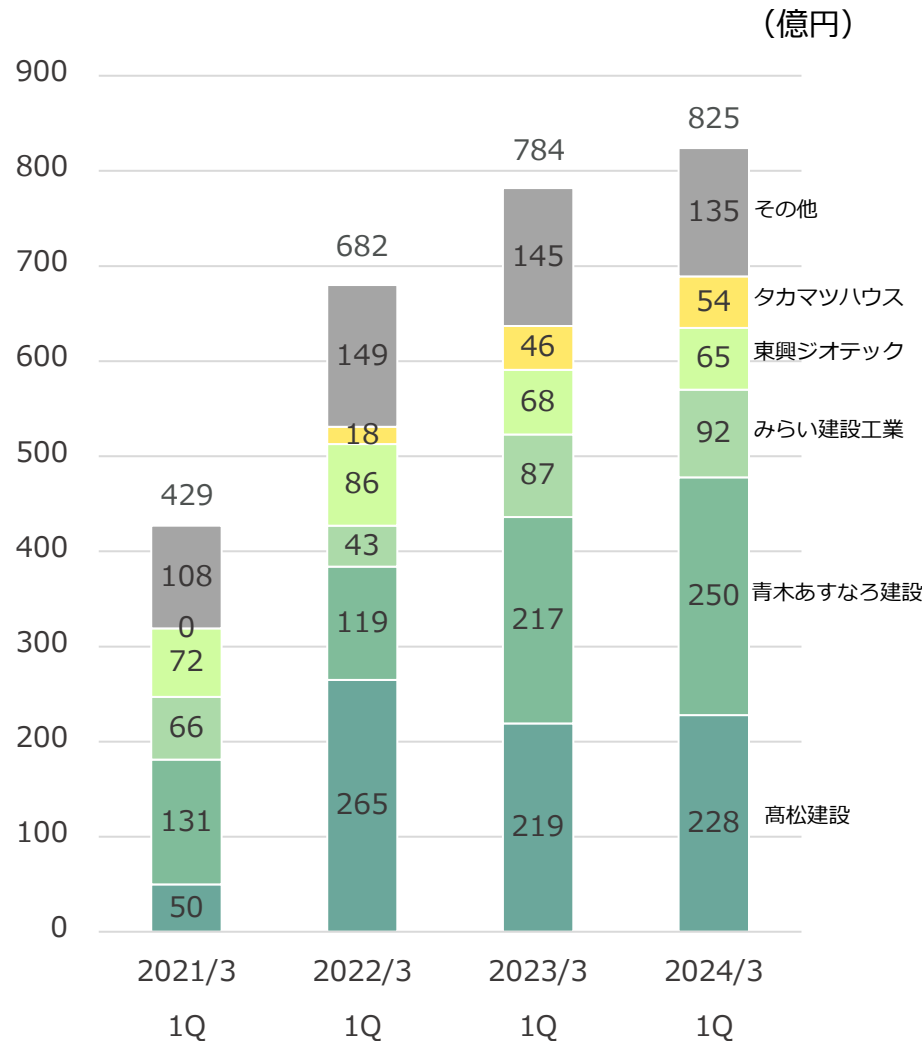
セグメント別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
土木	22,339	23,908	28,777	26,003
建築	15,496	36,256	38,605	44,369
不動産	5,159	8,102	11,104	12,224
連結合計	42,995	68,268	78,486	82,597



中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は前年同期比+3.8%、青木あすなる建設は北海道新幹線や建築で複数の大型案件を受注したことにより前年同期比+14.9%、みらい建設工業は前年同期比+5.8%、東興ジオテックは△3.8%、タカマツハウスは好調を維持し前年同期比+17.7%。

会社別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
高松建設 (単体)	5,096	26,534	21,971	22,808
青木あすなる 建設 (単体)	13,156	11,963	21,788	25,026
みらい 建設工業 (単体)	6,691	4,331	8,700	9,205
東興 ジオテック (単体)	7,246	8,636	6,837	6,580
タカマツ ハウス (単体)	4	1,854	4,603	5,416
その他 (含連結調整)	10,802	14,950	14,587	13,562
連結合計	42,995	68,268	78,486	82,597



中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 前年、ごみ処理施設や複合施設などの大型工事受注により、高松建設で前年同期比+14.1%、青木あすなる建設で前年同期比+17.2%の増加。東興ジオテックは前年受注不振の影響で前年同期比△5.5%、タカマツハウスは前年同期比△26.1%。その他中核以外のグループ会社では、青木マリーンで+85%、島田組で+29.5%、高松テクノサービスで+28.2%などの増加があり、前年同期比+30.2%。連結合計で前年同期比+14%となった。

(百万円)

会社別	2023/3 1Q	2024/3 1Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)	181,214	206,703	↑ 25,489	+14.1%
青木あすなる建設 (単体)	土木	62,650	↑ 2,389	+3.8%
	建築	74,181	↑ 21,104	+28.5%
	合計	136,834	↑ 160,326	+17.2%
みらい建設工業 (単体)	35,229	↑ 37,266	↑ 2,036	+5.8%
東興ジオテック (単体)	12,904	↓ 12,188	↓ △716	△5.5%
タカマツハウス (単体)	3,889	↓ 2,874	↓ △1,014	△26.1%
その他 (含連結調整)	15,955	↑ 20,778	↑ 4,823	+30.2%
連結合計	386,025	↑ 440,135	↑ 54,110	+14.0%

高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 東京では前年同期の受注を下回っているものの、全体では前年同期を上回る受注高となっている。
- ◆ 大阪のマンション比率が例年と比較すると低いが、通期でのマンション・非マンションの構成比は例年と同等の水準で落ち着くものと思われる。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2023/3 1Q	構成比	2024/3 1Q	構成比	2023/3 1Q	構成比	2024/3 1Q	構成比
マンション	3,045	34.1%	512	4.7%	12,686	97.2%	8,042	68.1%
非マンション	5,882	65.9%	10,494	95.3%	359	2.8%	3,761	31.9%
合計	8,927	100%	11,006	100%	13,045	100%	11,803	100%

※数値はグループ会社間取引を含む。

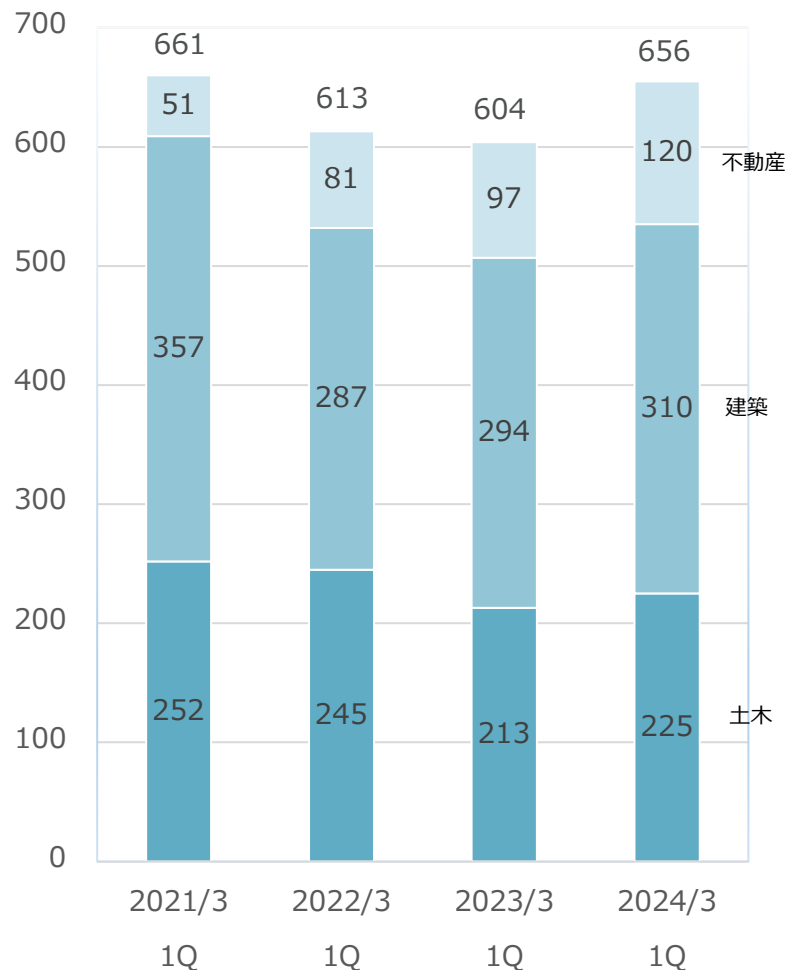
セグメント別 売上高

◆ 土木は青木あすなる建設、東興ジオテックで減も、みらい建設工業で大幅増となり前年同期比+5.6%。建築は青木あすなる建設で減も高松建設で増加し前年同期比+5.7%、不動産はタカマツハウスが好調を維持し前年同期比+23.9%と大幅増。

(百万円)

セグメント別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
土木	25,200	24,557	21,312	22,513
建築	35,763	28,716	29,400	31,064
不動産	5,159	8,102	9,714	12,035
連結合計	66,123	61,377	60,427	65,613

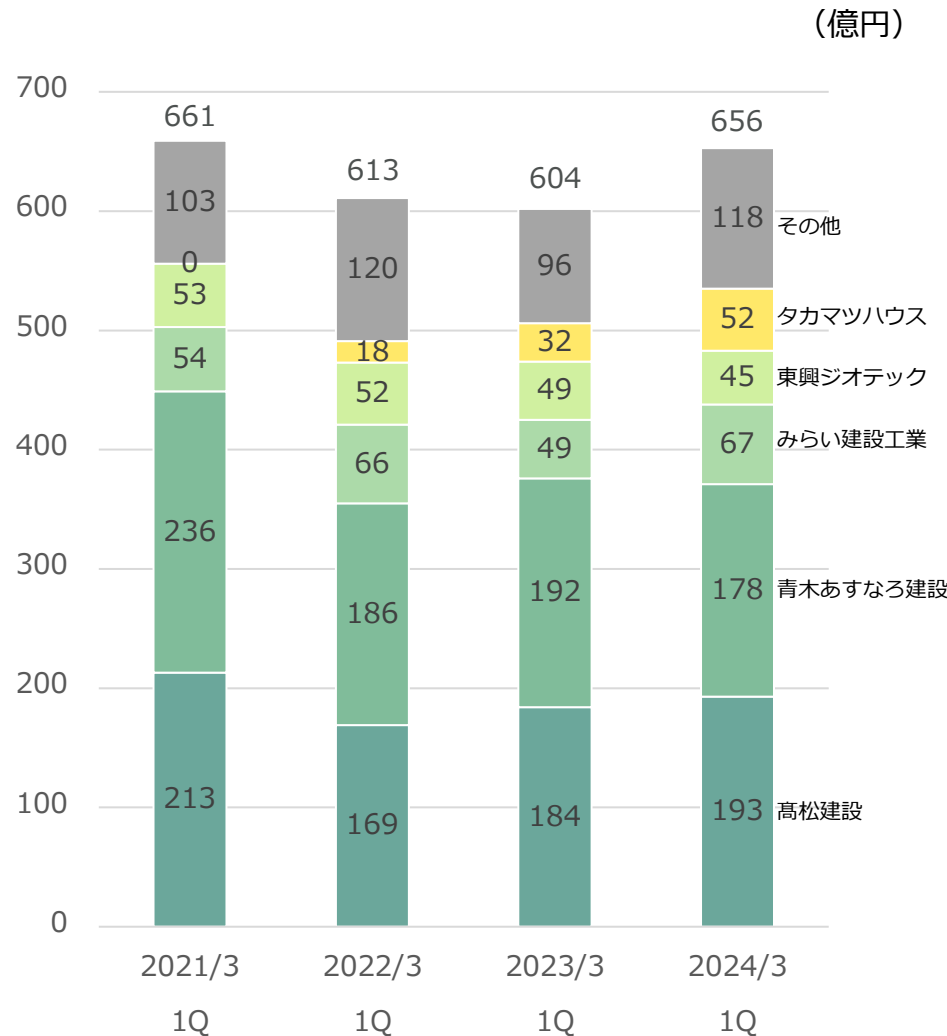
(億円)



中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前年同期比+5.4%、青木あすなる建設は工事進捗の遅れ等により前年同期比△7.5%、みらい建設工業は前年の受注回復により前年同期比+36.5%、東興ジオテックは工事の着工遅れ、進捗遅れにより前年同期比△7%、タカマツハウスは好調を維持し前年同期比+62.5%、中核以外のグループ会社でも前年同期比+22.4%となり、連結合計で前年同期比+8.6%の増加となった。

会社別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
高松建設 (単体)	21,352	16,967	18,402	19,397
青木あすなる 建設 (単体)	23,638	18,634	19,262	17,811
みらい 建設工業 (単体)	5,447	6,631	4,946	6,750
東興 ジオテック (単体)	5,365	5,211	4,908	4,564
タカマツ ハウス (単体)	4	1,854	3,217	5,227
その他 (含連結調整)	10,317	12,080	9,692	11,864
連結合計	66,123	61,377	60,427	65,613

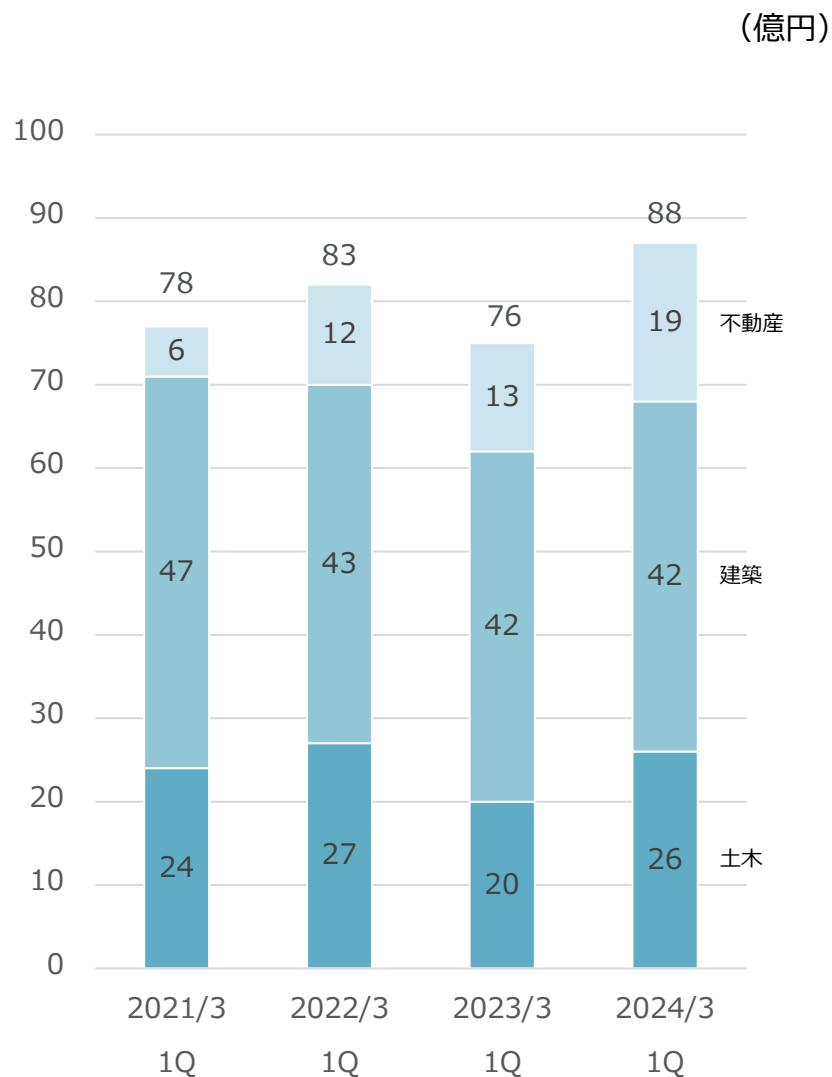


セグメント別 売上総利益

◆ 土木は東興ジオテックで減も、みらい建設工業の大幅増で前年同期比+27.6%と大幅増、建築は前年同期比+1.4%と微増、不動産はタカマツハウスが好調を維持し+45.9%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
土木	2,443	2,760	2,072	2,644
建築	4,746	4,337	4,220	4,280
不動産	690	1,203	1,321	1,927
連結合計	7,881	8,301	7,613	8,852



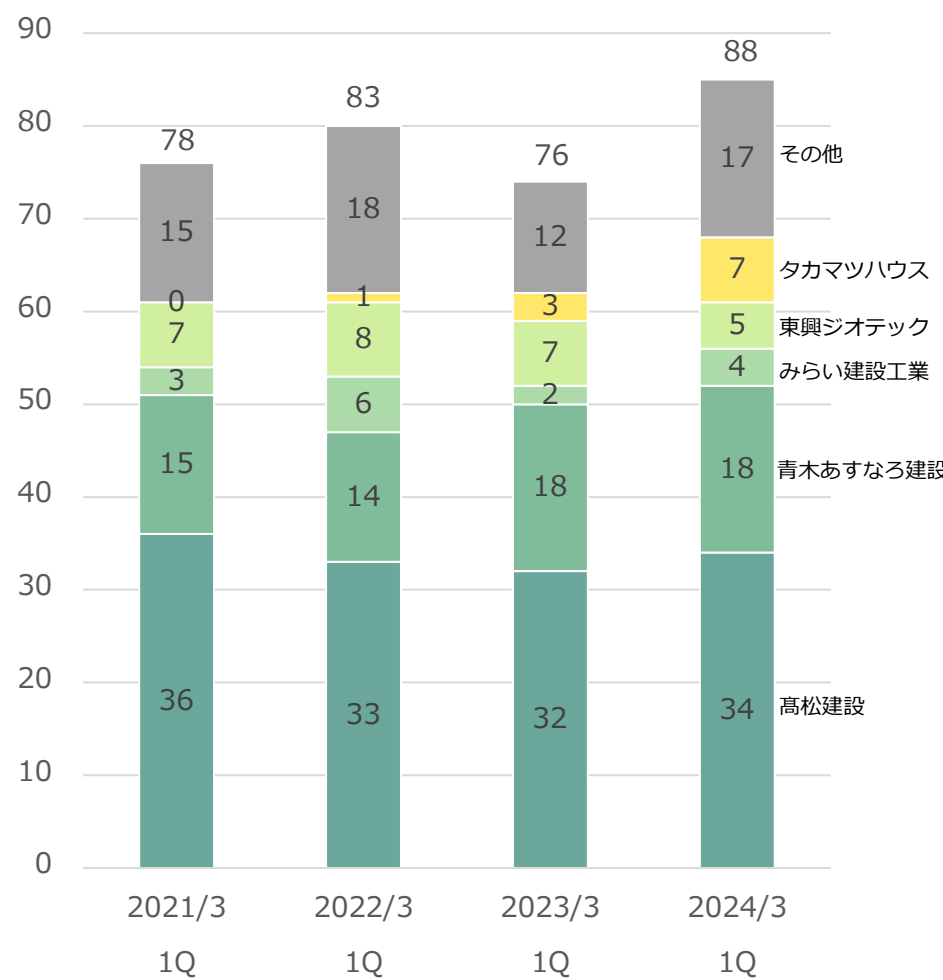
中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は売上の増加により前年同期比+8.3%、青木あすなる建設は前年同期比+0.9%と微増、みらい建設工業は売上の増加により前年同期比+92.7%と大幅増。東興ジオテックは売上の減少により前年同期比△18.4%。タカマツハウスは好調を維持し前年同期比+92.9%。中核以外のグループ会社でも前年同期比+39.8%と利益改善し、連結合計で+16.3%となった。

会社別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
高松建設 (単体)	3,622	3,323	3,217	3,483
青木あすなる 建設 (単体)	1,569	1,476	1,814	1,830
みらい 建設工業 (単体)	384	615	248	478
東興 ジオテック (単体)	791	884	705	575
タカマツ ハウス (単体)	4	186	393	758
その他 (含連結調整)	1,511	1,817	1,236	1,728
連結合計	7,881	8,301	7,613	8,852

(百万円)

(億円)



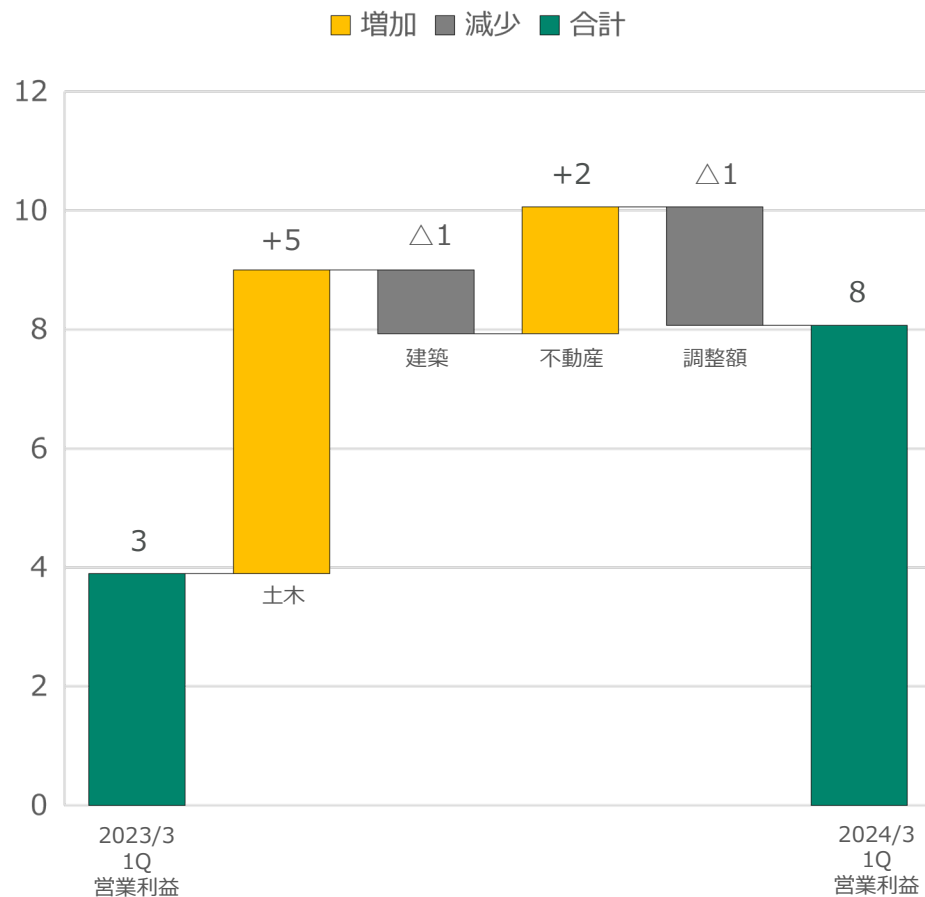
セグメント別 営業利益

◆ 土木は青木あすなる建設、中核以外のグループ会社で増加し、前年同期比+76.4%。建築は高松建設で前年同期比増も、青木あすなる建設、高松建設グループ各社の売上減に伴う営業利益減が影響し前年同期比△43.5%。不動産はタカマツハウスで好調を維持し+35%。

(億円)

(百万円)

セグメント別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
土木	1,171	1,467	666	1,176
建築	923	185	245	138
不動産	243	703	608	821
連結調整	△931	△919	△1,130	△1,328
連結合計	1,407	1,437	390	807



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

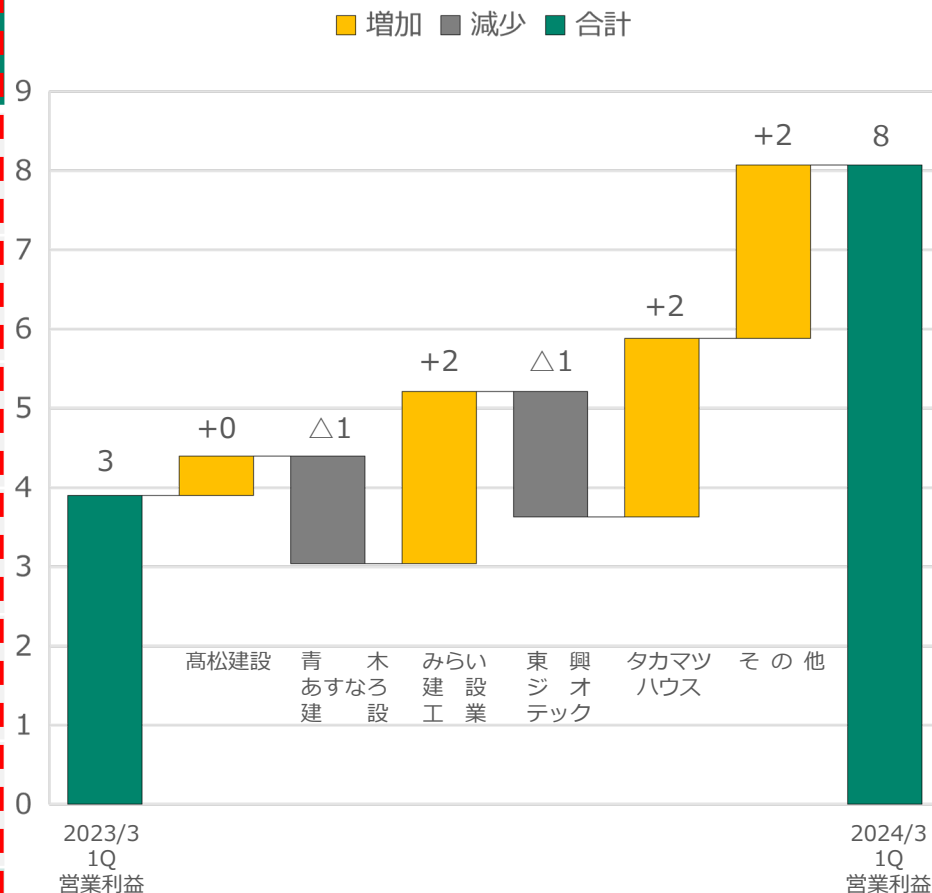
中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は人件費は増加しているものの、売上の増加、売上総利益率の増加により、前年同期比+12.7%。青木あすなる建設は売上の減少と人件費の増加により△32.2%。みらい建設工業は売上の増加により、2.17億円営業赤字幅を縮小。東興ジオテックは売上の減少、売上総利益率の低下で△63.2%。タカマツハウスは好調を維持し、前年同期比約3.7倍。中核以外のグループ会社でも売上の増加により、営業赤字を2.19億円縮小させた。

(百万円)

(億円)

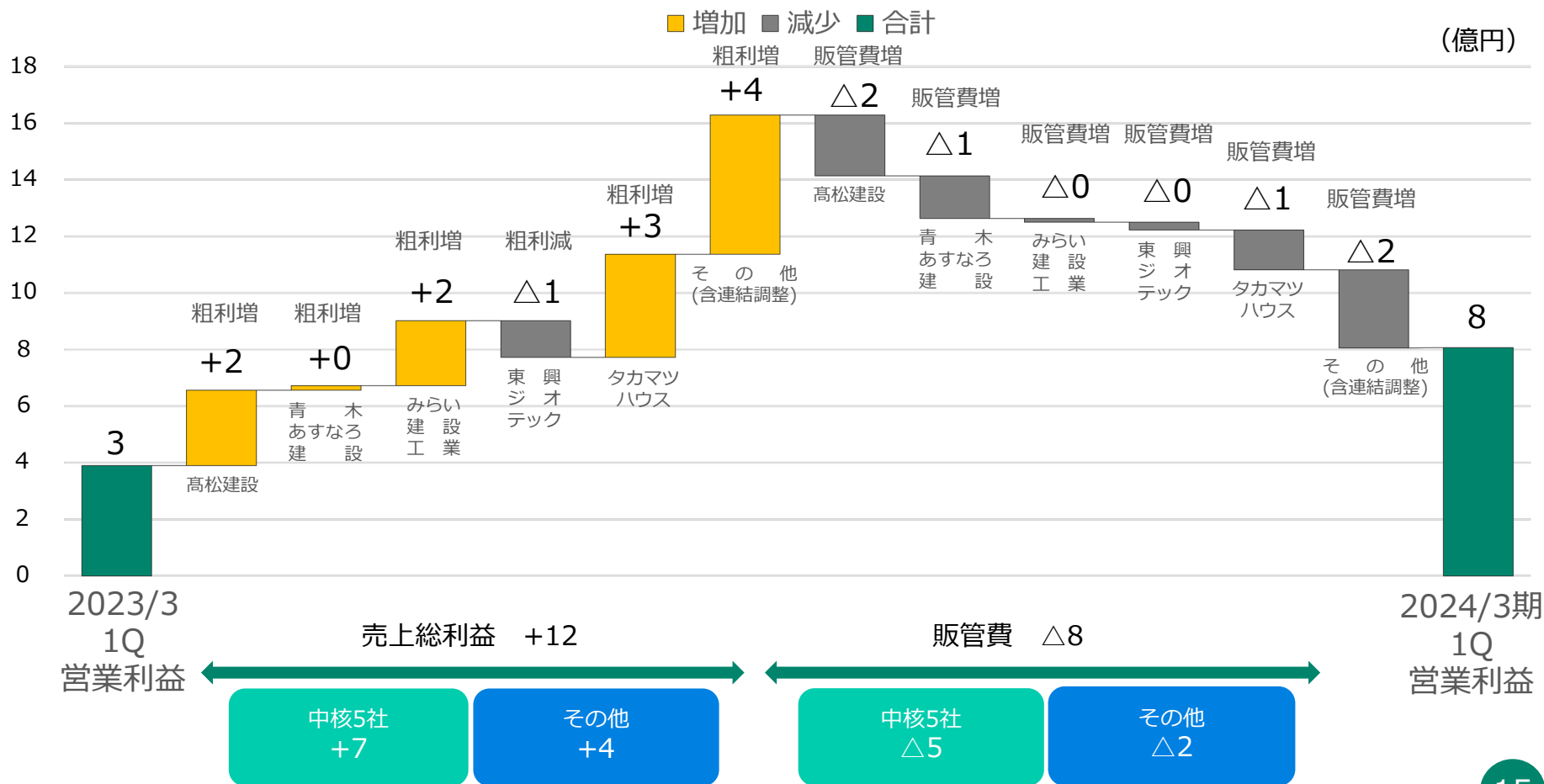
会社別	2021/3 1Q	2022/3 1Q	2023/3 1Q	2024/3 1Q
高松建設 (単体)	954	559	395	445
青木あすなる 建設 (単体)	193	65	422	286
みらい 建設工業 (単体)	△48	150	△249	△32
東興 ジオテック (単体)	381	466	250	92
タカマツ ハウス (単体)	△76	67	83	308
その他 (含連結調整)	3	130	△511	△292
連結合計	1,407	1,437	390	807



売上総利益・販管費 営業利益増減分析

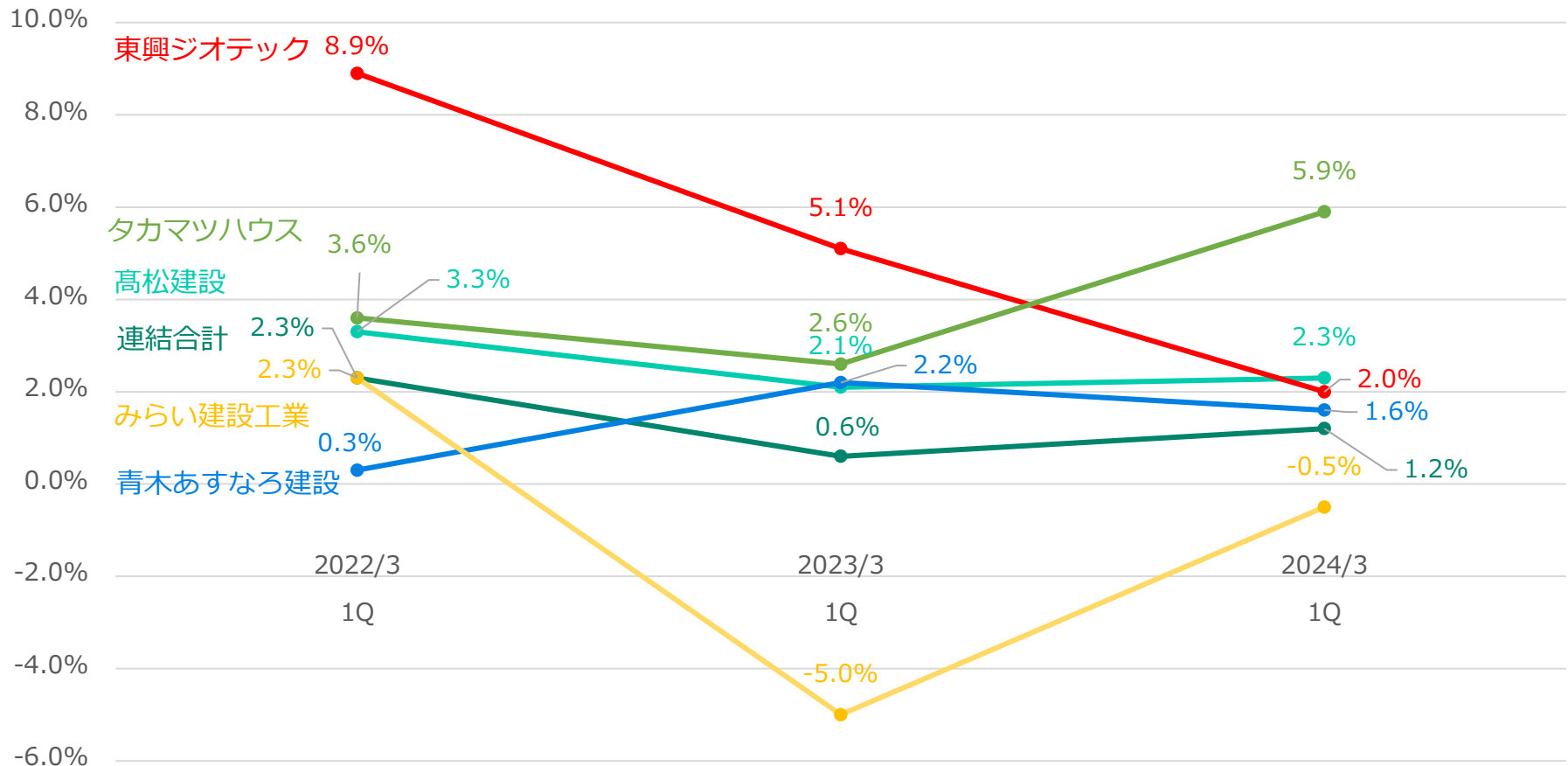
◆ 東興ジオテックで売上総利益減も、その他の中核会社で売上総利益が増加し、全体としては前年同期比で約12億円の売上総利益増。販管費は主に各社で人件費が増加し、全体で約8億円の増加となり、営業利益額では連結合計で前年同期比約2.1倍となった。

営業利益増減分析



連結合計と中核5社の営業利益率

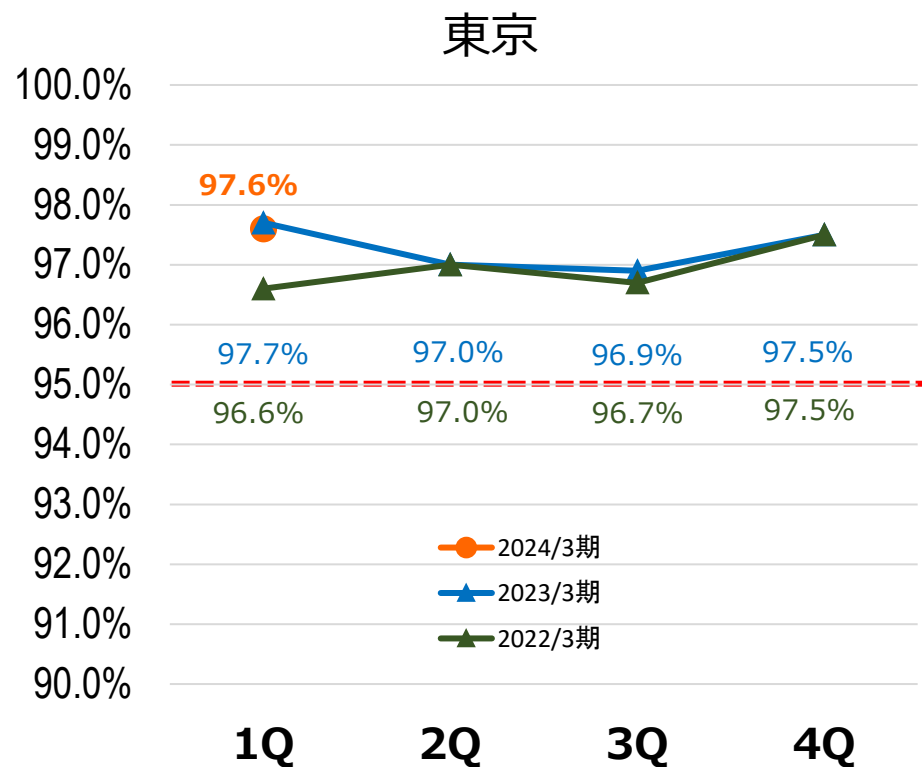
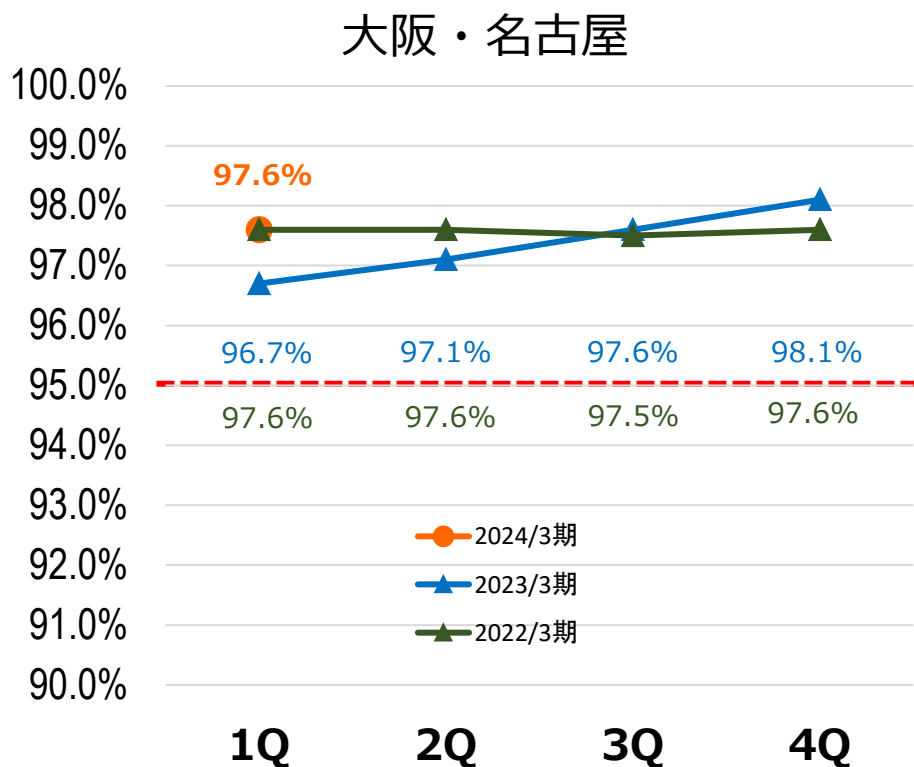
- ◆ 高松建設は前年同期比+0.2ptと微増。青木あすなろ建設は前年同期比△0.6ptと微減。
- ◆ みらい建設工業は売上総利益率+2.1ptと増加し、販管費のうち主に人件費が増加するも、営業利益率+4.5ptで△0.5%と前年同期比で大幅に回復。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率が△1.8ptとなり、販管費も増加し、営業利益率△3.1ptの大幅減。
- ◆ タカマツハウスは人件費が増加するも、売上総利益率で前年同期比+2.3ptとなり、営業利益率は前年同期比+3.3ptと大幅増。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は24/3月期1Qも95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

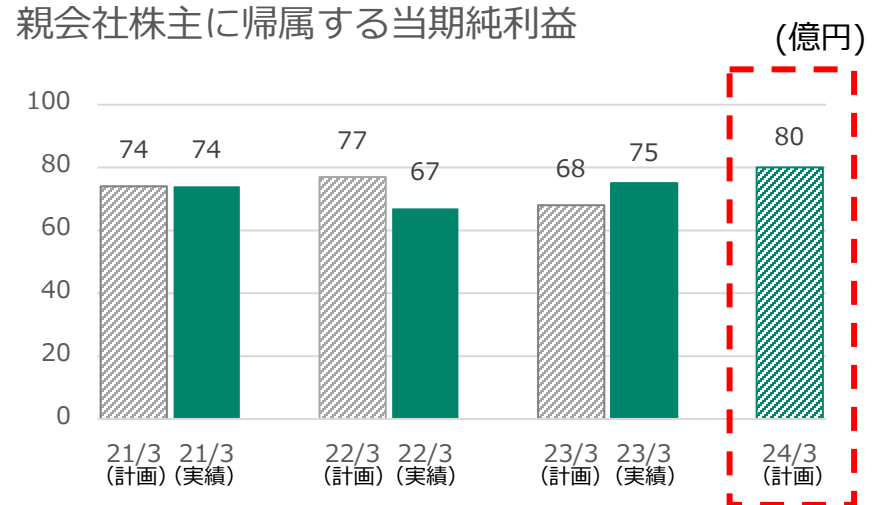
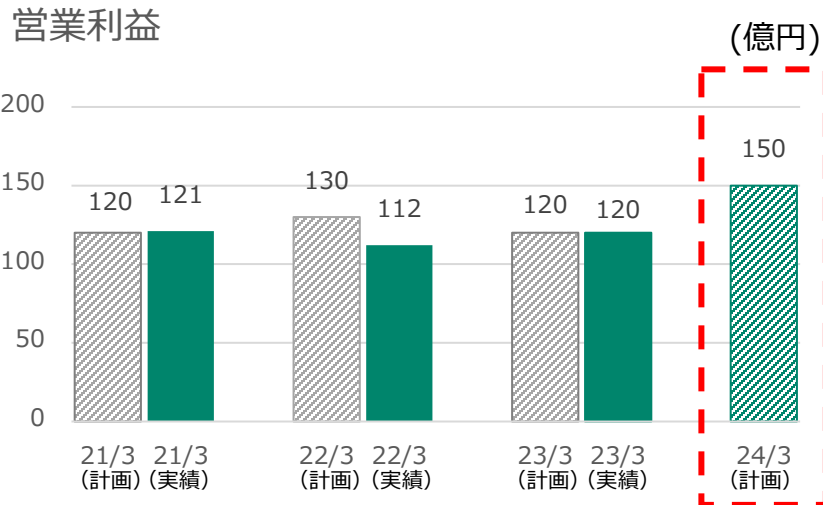
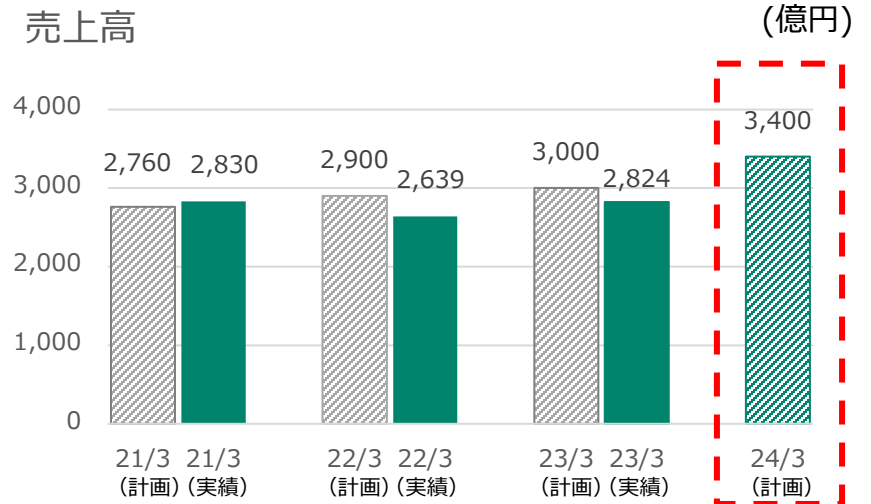
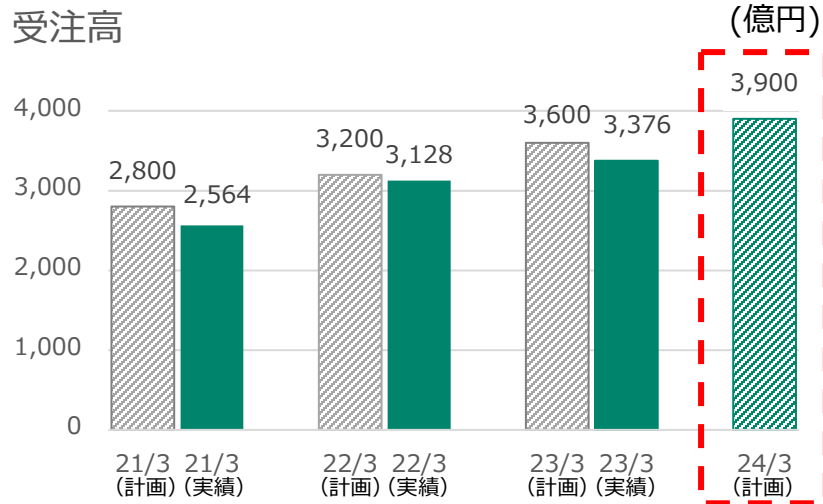
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2024年3月期
業績予想・配当予想

2024年3月期 業績予想

◆ 2024年3月期は中期経営計画に沿った業績予想。2024年3月期第1四半期時点では通期見込みに変更はない。



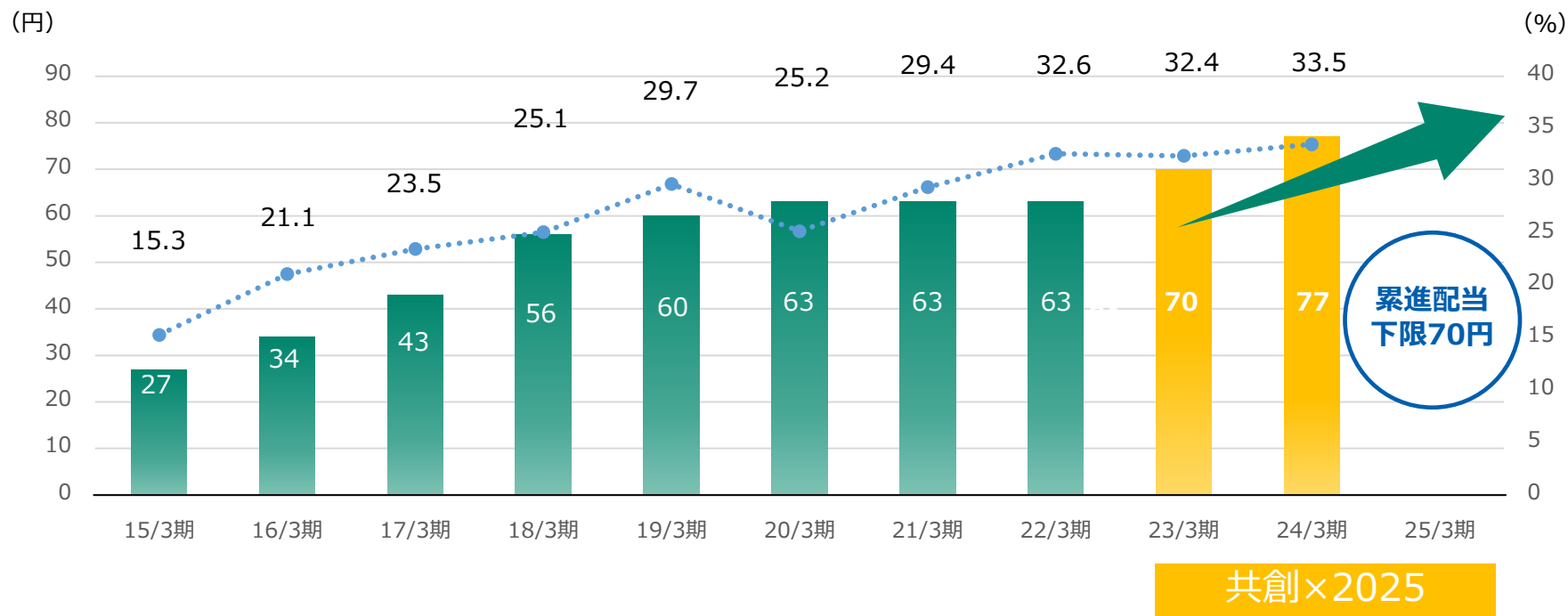
2024年3月期 業績予想のポイント

2024年3月期第1四半期 業績の総括	<ul style="list-style-type: none">• 受注・売上、営業利益は期首計画通りの進捗。• 原材料価格、資機材価格の高止まりが続いているものの、売上の増加により前年同期比で利益増。• 四半期純損失については、一時費用（5月に竣工した東京本社ビルへの移転費用454百万円）が発生したことが要因。
足元の事業環境	<ul style="list-style-type: none">• 原材料価格、資機材価格については高止まり。• 労務費については上昇基調が続いている。
今期の見通し	<ul style="list-style-type: none">• 土木セグメントは「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などにより堅調に推移する見込み。• 建築セグメントは、非マンションは企業の堅調な設備投資意欲により堅調に推移する見込みであるが、賃貸マンション関連は原材料価格、資機材価格や労務費の高騰により鈍化傾向にある。• 不動産セグメントは住宅ローンの固定金利の上昇傾向、また建設資機材価格の高騰により住宅価格が上昇基調にあり、下期に向け事業環境は鈍化傾向にある。• 原材料価格、資機材価格については高止まりが続き、労務費は上昇基調が続いている。公共事業については物価スライドが適用されるケースもあるが、民間発注の工事、特に大型の案件については契約締結から1年以上経過してから着工となる工事も多く、物価上昇の影響を受けても発注者への転嫁への理解が得られないケースもあり、下期の利益圧迫要因となる可能性がある。

2024年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2023年3月期の配当額は1株当たり70円と、期初発表の63円より**7円の増額**。
- ◆ 2024年3月期の配当額は1株当たり77円と、2023年3月期配当額より**7円の増額**予定。

配当額・配当性向 推移



トピックス

トピックス

◆青木あすなろ建設

○2025 年日本国際博覧会出展

2025 年日本国際博覧会に、コマツと共同出展する。展示は未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」でおこなわれ、超遠隔操作・無人化施工・水中電動などの最先端技術による「未来の水中工事」を世界に発信する。

コマツは、1971 年にラジコン操縦の水陸両用ブルドーザーを開発し、国内外で36 台を販売してきた。青木あすなろ建設は、このうち現在も稼働中の5 台全てを所有し、東日本大震災の災害復興を含む1,200 件以上の水中工事の中で知見と施工技術を蓄積してきた。

現在、水深50m までを視野に、自動制御とICT 機能により、熟練技術がなくとも操作可能な電動式の水陸両用ブルドーザーの実証に向け、共同で取り組んでいる。今後は、3次元の測量・設計・施工データと、気象データや施工履歴などのビッグデータを組み合わせ、AI解析で最適化した工事計画に基づき、安全・快適なオフィスから水中施工ロボットを遠隔操作するソリューションを実現した「未来の水中工事」を目指す。



高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。